

新年のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一二
 浄土真宗 本願寺派 西福寺
 TEL072-623375 FAX072-623375

み光に照らされて、新年を迎えることができます。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十四年最初のご案内を申し上げます。

がん たん え

元旦会

日時 一月 一日 (祝) 昼一時
 講師 本願寺中央講師



足利孝之師

■「一年の計は元旦にあり」。阿弥陀様の御前で、新年を迎える私の心を見つめたいものです。お屠蘇進上。今年も福引を行います。お楽しみに。

■足利先生、兵庫県尼崎市、安養寺住職。教誨師として多くの死刑囚を看取られたご経験から阿弥陀様のお慈悲について分かりやすく熱くお話下さいます。

■お寺は、死を穢れたものとして遠ざけたりしません。大事な方を亡くされた方は、是非お寺にご参拝下さい。

●年末年始のお参りについて

* * *

誠に勝手ながら左記の通り、年末年始は、お逮夜参りをお休みいたします。

この期間内に月命日を迎えられる方は、12月30日までの都合の良い日をご連絡いただけます。お伺いいたします。もしくは、当山の元旦会にご参拝下さい。

何卒、ご理解とご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

年内：12月30日(金)まで

新年：1月5日(木)から

*葬儀など緊急の際は、まずお寺まで直ちにご連絡下さい。TEL 072-6222-3725

親鸞聖人750回大遠忌法要

ごしやうとう

御正当

1月9日から16日まで、京都・西本願寺で親鸞聖人750回大遠忌法要御正当が厳修されます。

法要は1月9日の逮夜から16日の日中(ご満座)までごめられ、ご満座後にはご門主から「ご消息」が発布されます。日中は午前10時、逮夜が午後2時からで、開始30分前から総局挨拶と記念布教、15分前から縁儀が始まります(9日逮夜の縁儀はなし)。全座ともご門主、または新門さまが御導師をつとめられます。

参拝は個人、団体ともに自由。参拝席はいす席で、指定はありません。住職は1月11日(水)午後2時からの逮夜法要に参拝いたします。御佛飯料を進納される方は前々日(9日)までご一報下さい(記念品がいただけます)。
 ※万一の場合は、住職携帯まで
 (090-1071-4881)

年忌表 (平成二十四年)

1	三	七	1	三	七	1	三	七
回	回	回	回	回	回	回	回	回
平	平	平	平	平	平	平	平	平
成	成	成	成	成	成	成	成	成
二	二	二	二	二	二	二	二	二
十	十	十	十	十	十	十	十	十
三	三	三	三	三	三	三	三	三
年	年	年	年	年	年	年	年	年
七	七	七	七	七	七	七	七	七

平成二十四年は、上の年に亡くなった方々の年忌に当たります。盛大であるに越したことはありませんが、ささやかでも、真心のこもった法要(法事)を勤めたいものです。法要は、命日に勤めることが理想ですが、都合で、日・月・年が前後にずれる場合があっても構いません。法要を勤めるにあたっては、まず日程を住職にご相談ください。日取りが決まったら、親戚知人にも通知を出し、前日までにお仏壇をきれいに掃除し、お供物やお花、お香などを買い替え、心をこめて準備いたしました。そのほか、ご不明な点は何なりと住職までお尋ねください。

※左の点線部分で切り取って『真宗教団連合平成24年法語カレンダー』の台紙に貼ってご活用下さい。
 ※早い！きれいな！エコ！寺報メール便のお申し込みは、こちらまで saifukuji@rumbini.com

いしかわきんや 石川欣世先生の 法話のダイヤル 0743-53-4488

二月のご案内

〒567-0012 茨木市東太田二丁目九一三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL 072-6222-3372 FAX 072-6222-3375

寒風に耐えて、梅のつぼみが膨らんでいきます。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十四年二月のご案内を申し上げます。

第二百二十九回

人生講座

日時 二月十二日(日) 昼二時～四時

講師 本願寺派布教使

喜多唯信師



■喜多(きた)先生、四十四歳。泉佐野市・光瀧寺住職。

大阪教区基幹運動推進委員会同朋部々員。二十年来、高槻市東五百住の行信教校で研究生として研さんを積まれておられる実直な先生です。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

●西福寺責任役員並びに門徒総交代

* * *

平成十二年より西福寺門徒総代を務めて来られました下村多美恵氏が昨年十月、任期満了をもって退任されました。宗派内でも数少ない女性総代の一人としてご苦労いただきました。後任には野口昌祐三氏が就任されました。また本年一月をもって西村滋氏が責任役員を退任され、太田和弘氏が後任として就任。新たに西村満雄氏が門徒総代に就任されました。なお、太田晃氏は責任役員を再任されました。

このたび退任されたお二人には、永らく宗門並びに当山の護持発展にご尽力いただきました。今後は一門徒としてお聴聞に励まれ、西福寺を支えてくださることです。ここに厚く御礼申し上げます。

るんびに日曜学校「涅槃会」

ねはんえ

【二月二十六日(日)午後二時より】

るんびに日曜学校は、小学生のための心の学校です。「涅槃会」では、お参り・法話のあじ、劇やパネルシアター、お母さん方の本の読み聞かせなど盛りだくさんの内容で行われます。粗糲進呈。どなたでもお参りいただけます。

【日曜学校「涅槃会」次第】

献花・献灯・献香

おまいり「らいはいのうた」

法話(住職)

歌

パネルシアター「半日村」

読み聞かせ(育成会)

劇「花のき村と盗人たち」



大阪教区茨木東組同朋研修会

いばらきどうじ せつつ いっこういっき

茨木童子・摂津の一向一揆

わが町「茨木」のマスコット

として親しまれている「茨木童子」。

鬼と呼ばれた童子の生い立ちを訪ねて行く

と、やがて「イバラキ」という言葉そのものの源

流にたどり着きます。

ご講師に大橋忠雄氏(鬼の研究者)を迎え、知られざる郷土の歴史について興味深いエピソードを交えながら、今日に至る真宗寺院と地域とのかわりを詳らかにさせていただきます。

【とき】 2月22日(水) 午後2時～4時

【ところ】 称名寺(茨木市総持寺2-8-17)

【講師】 大橋忠雄氏(鬼の研究者)

1940年生まれ。前茨木市教育長。

第6回全国学校図書館賞受賞。

著書:『民話の中の虚と実』(自費出版)

『民話の中の被差別部落像』(明石書店)

『一向一揆最後の戦い―北摂の物語』(明石書店)

『茨木童子―鬼と呼ばれた童子を追って』(明石書店)

『鬼ものがたり―鬼と鉄の伝承』(明石書店)

『茨木童子の素顔に迫る』(明石書店)

※参加費は無料です。

※2月12日(日)までにお申し込み下さい。

《西福寺》 ☎072-6222-3372

三月のご案内

〒567-0012
茨木市東太田二丁目九-三二
浄土真宗 本願寺派 西福寺
TEL:072-6222-3725 FAX:072-6222-3725

一輪の梅が、厳しい寒さの中にも微かに春を感じさせてくれます。

皆様には如何お過ごしでしょうか。
平成二十四年三月のご案内を申し上げます。

第二百三十回

人生講座

日時 三月十一日(日) 昼二時〜四時
講師 本願寺派布教使

稲葉芳道師



■稲葉(いなば)先生、七十三歳。奈良県吉野郡下市町、法泉寺住職。平成三(一九九一)年、第一回『短期るんびに苑』以来、ご家族・ご門徒を挙げて、『るんびに苑』の実現にご協力いただきました。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

初参式

昨年1年間(平成23年1月1日〜12月31日)にお生まれになったお子様を対象に初参式を行います。

この世界に生を賜った喜びを感じ、ほとけの子として健やかな成長を願うご家族の皆さまのご参詣をお待ちしています。

と き: 4月10日(土) 午後1時より

ところ: 西福寺本堂

受式冥加金: 5000円

申込み締切: 3月末日。

お問い合わせ: 西福寺 (TEL 072-6222-3725)

彼岸会寄席

桂文福(座来山)



西福寺仏教婦人会3月の例会は、彼岸会(ひがねえ)寄席です。今年も文福一座の皆さんにお越しいただきます。

桂文福さんは、昭和47年に五代目桂文枝師匠に入門されました。以来「出会い、ふれあい、わきあいあい」をモットーに100キロの巨体をものともせず、「ふるさと寄席」の座長として日本各地を飛び回っておられます。

当会員の方に限らず、どなたでもお参りいただけます。「佛説阿弥陀經」のお勤め後、お楽しみ下さい。

日時: 3月18日(日) 午後2時〜3時半

場所: 西福寺本堂

費用: 千円(運営協力金として)



ご家族の皆さまも一緒にどうぞ。

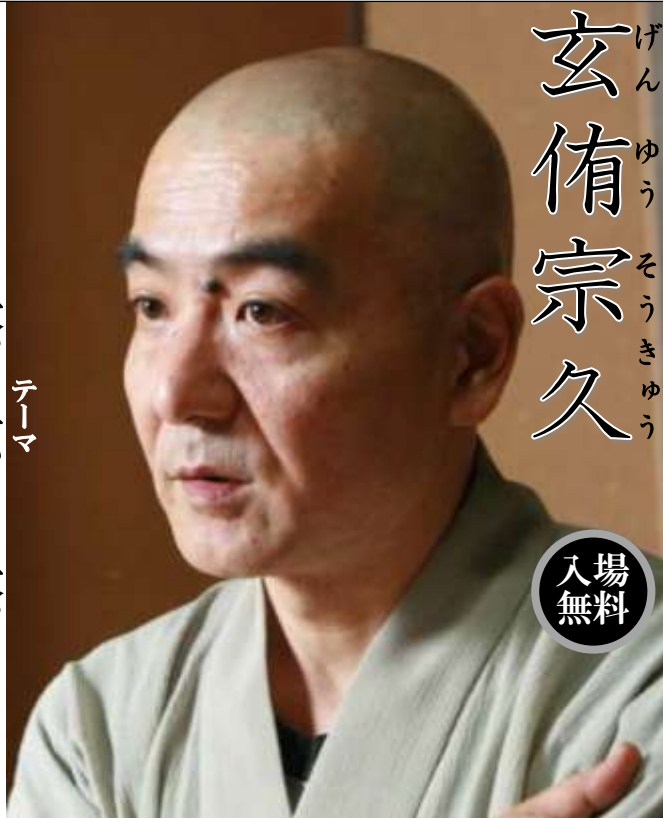
石川欣也先生の

法話のダイヤル 0743-53-4488

玄侑宗久

北御堂 公開講座

入場無料



自然と不自然

テーマ

日時 平成24年3月26日(月)

◎開場17時 ◎開会17時50分 ◎開演18時

会場 本願寺津村別院3階 本堂

プロフィール

1956年福島県生まれ。慶応義塾大学中国文学科卒業。現在は臨濟宗福聚寺第35世住職。福島県警通訳。福島県立医大経営審議会委員。花園大学国際禅学科、新潟薬科大学応用生命科学科、客員教授。2001年、「中陰の花」で第125回芥川賞を受賞。2007年、柳澤桂子氏との「般若心経 いのちの対話」で第68回文藝春秋読者賞を受賞。近著には『四雁川流景』『テルちゃん』『阿修羅』などの小説のほか、『福島に生きる』『無常と、いふ力』など。また釈徹宗師との対談『自然を生きる』や、瀬戸内寂聴師やひろさちや師や養老孟司師や五木寛之師との対談本も多い。2011年4月から、東日本大震災復興構想会議委員。

入場無料・定員500名・全席自由席・事前申込不要・当日受付可
定員を超えた場合は、立ち見または別室で中継映像をご覧下さい。

お車でお越しの方は、北御堂周辺の有料駐車場を御利用下さい。
電車でお越しの方は、地下鉄御堂筋線「本町」駅下車。A階段2番出口よりすぐ

〒541-0053 大阪市中央区本町4-1-3

本願寺津村別院(通称北御堂) ☎06-6261-6796

四月のご案内

〒567-0012
TEL:072-622-3725 FAX:072-622-3725
茨木市東太田二丁目九一三二
浄土真宗 西福寺
本願寺派

季節が行きつ戻りつしながらも、日差しが柔らかく温かく感じられるようになってまいりました。皆様には如何お過ごしでしょうか。

平成二十四年四月のご案内を申し上げます。

第二百三十一回

人生講座

日時 四月八日(日) 昼二時～四時
講師 本願寺派布教使

加藤真悟師



■加藤(かとう)先生、四十二歳。大阪府四條畷市、自然(じねん)寺住職。学校になじめない子供たちの学びの場「フリースペースなわて」のボランティアスタッフとして、子供たちの悩みや苦しみと向き合ってこられました。御自坊では仏教青年会を立ち上げ、活発に活動されています。
■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

●るんびに日曜学校をお手伝いしていただける方、募集しています。



『るんびに日曜学校』は、家庭や学校では疎かになりがちな人間として大切な《心》を学ぶ、小学生のための学校です。活動をより充実させるため、先生としてお手伝いしていただける方を募集しています。

開校日は原則として、毎月第3日曜日。朝9時半～正午。主な行事は、花まつり・工作・夏のお泊り会(1泊2日)・秋の遠足・涅槃会(歌や劇の発表)などです。交通費実費支給・薄謝進呈。

※18才以上。ひとまずお電話下さい。(電話072-622-3725)

4月7日は、「花まつり」です。

『花御堂』を飾り、甘茶をかけてお釈迦さまのお誕生を祝います。あなたも、お友達をさそつて、お参りください。みんな、素直な、良い子になりますように！



4月7日(土) 西福寺
午後2時～8時 072-622-3725

■昼2時から法要(15分程度)。夜8時まで、お参りできます。

■先着50名の方には粗供養を進呈。※昼1時から初参式(しよさんしき)厳修。昨年生まれたばかりのかわいいほとけの子供たちがご家族の方々とともにお参りされます。お時間の許す方は、ぜひお立会い下さい。

龍谷大学 龍谷ミュージアム



特別展 仏教の来た道

—シルクロード探検の旅—

2012年4月28日[土]～7月16日[月祝]
開館時間：午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)
休館日：毎週月曜日(ただし4月30日、5月21日、7月16日は開館)
観覧料：一般1000(800)円/高生700(500)円/小中生300(200)円 ※ ()内は前売り並びに20人以上の団体料金 ※小学生未満、身体障害者手帳、療育手帳、戦傷病者手帳の交付を受けている方及びその介護者1人は無料《前売取り扱い》3月1日(木)から4月27日(金)まで、主なプレイガイドで販売

今から約2500年前にインドで誕生した仏教は、ガンダーラ、西域を経て、中国、朝鮮半島、そして日本へと伝わりました。この過程で、仏教の教えは様々な地域文化と相互に影響しあいながら、柔軟にその地に根付いていきます。すなわち、シルクロードにおける東西文化の交流が仏教の広がりを支えていたのです。
この「仏教の来た道」を、20世紀初頭に日本ではじめて学術的に調査したのが大谷探検隊でした。浄土真宗本願寺派・西本願寺の第22世門主である大谷光瑞師によって組織された「大谷探検隊」は、仏教伝来のルートを調査することを第一の目的として掲げ、アジア各地を調査するとともに、多くの知見と文物を日本にもたらしました。

本特別展では、仏教伝播の道とそこに花開いた東西文化交流の精華を、大谷探検隊が日本にもたらした貴重な資料を中心に据えて多角的に紹介します。
展示品の総数は210件を超え、うち、大谷探検隊関連品の初出品も含め124件におよびます。また、国指定の重要文化財も5件展示するなど見応え充分のこの特別展にご期待ください。

〒600-8399 京都市下京区堀川通正面下(西本願寺前)
龍谷大学 龍谷ミュージアム ☎075-3351-2500

いしかわきんや 石川欣也先生の ☎
法話のダイヤル0743-53-4488

五月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九-三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL:072-531-3400 FAX:072-531-3401

鳥のさえずりに誘われて空を見上げると、初々しい若葉が銀杏の枝々にびっしりとしがみついています。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十四年五月のご案内を申し上げます。

永代経法要厳修

日時 五月十二日(土) 昼二時・夜七時

十三日(日) 朝十時

講師

本願寺派司教・行信教授 本願寺派布教使

高田慈昭師／星野親行師 ※十二日昼のみ

■永代経は、「亡き人をご縁として、ご先祖から伝えて頂いた尊い仏法を、永代にわたり」伝えていくため「仏法聴聞の殿堂としてのお寺を護持して(管純和師著「仏事の小箱」より)」いこうと願われる方々によって営まれる法要です。

■お誘い合わせの上、ご参拝下さい。

●茨木東組(いばらきひがしそ) 聖跡巡拝旅行バスツアー

この度は、鳥取県青谷町、願正寺を訪ねます。「ようこそ、ようこそ」と感謝の一生を送られた妙好人・源左さんゆかりのお寺です。その他、山陰教区の寺院を取りまとめる山陰教堂参拝、松江城のお堀を遊覧船で巡り、境港ではお食事とお買い物をお楽しみください。お泊まりは、名湯玉造温泉で旅のお疲れを癒していただきます。

日 程：6月5日(火)～6月6日(水) 1泊2日

集 合：朝8時20分(阪急茨木市駅西口バスターミナル交番前付近)

参加費：お一人様29,000円(一泊四食付き・参拝懇志含む)

申込方法：申込書に必要事項記入のうえ、参加費を添えて西福寺までお申し込みください。締切日：平成24年5月20日(日)(※定員がありますので、お早めに。)

永代経に向けて(お願い)

毎回、世話役の方々が中心となって準備して下さいますが、どなたでもお手伝いいただけます。お手すきの門信徒の皆さま、ご協力のほどよろしくお願い致します。

■5月11日(金)午後7時～於西福寺本堂
 おかざり(供物をそなえます)



ご協力

有難うございました

4月7日(土) 昼1時より

やわらかな春の日差しがふりそそぐ中、お釈迦さまのご誕生を祝い、昨年1年間に生まれたお子さんの健やかな成長を願って、そのお披露目をかねてのパレードでした。

西福寺門徒総代・仏教婦人会役員の皆さんが先導し、日曜学校生が白ゾウを引きました。るんに太鼓が太鼓・笛・鉦による楽を奏で、初参式受式者とその親族、住職からなる隊列を組み、西福寺周辺を歩きました。西福寺に帰着した後、花御堂の前で記念撮影。2時からの法要では、三奉請・表白・讃佛偈を勤めました。住職法話に続き、献花・灌仏(誕生仏に甘茶を注ぎます)を行いました。

当日は、周辺住民の皆さまの多大なるご理解とご協力を賜りまして、滞りなく執り行うことができました。ここに厚く御礼申し上げます。

西福寺住職



六月のご案内

〒567-0012
 茨木市東太田二丁目九三二
 浄土真宗 西福寺
 本願寺派
 TEL:072-533-1175 FAX:072-533-1175

日が長くなって、外での仕事がかどります。皆様には如何お過ごしでしょうか。平成二十四年六月のご案内を申し上げます。

第二百三十二回

人生講座

日時 六月十日(日) 昼二時～四時
 講師 本願寺派布教使

野村康治 師



■野村(のむら)先生、五十三歳。大阪市東淀川区、瑞松寺住職。地域で特別養護老人ホームへの入所待機者が三千人を超える状況を憂い、私財をなげうって平成十六年に淡路介護老人福祉施設ビハラーを開設されました。

■お誘いあわせの上、ごぞつてお参り下さい。

●ご本尊は本山よりお迎えしましょう

浄土真宗のご本尊は阿弥陀如来です。ご本尊には、阿弥陀如来の「絵像」(住職推奨)、もしくは「木像」、または「六字名号」の3種類があります。掛け方は、ご本尊を中央に、向かって右側に十字名号(帰命尽十方無碍光如来)、左側に九字名号(南無不可思議光如来)を掛けます。または、中央にご本尊、右側に親鸞聖人の御影、左側に蓮如上人の御影を掛けます(住職推奨)。本山(西本願寺)竜虎殿の参拝教化部に、冥加金をそえて申し出れば交付されます。実費で住職がお取り次ぎいたしますので、ご相談下さい。なお本山から拝受するお掛け軸にはご門主(現在は二十四世即如上人)の押印があります。

【参考】三十代(たて約27センチ・よこ約9センチ)

金襴：3万5千円・桐：2万5千円・藤：1万5千円(それぞれ1幅あたり)

※その他のお掛け軸の冥加金については住職までお尋ね下さい。

「東北教区災害ボランティアセンター」では、平成23年3月17日の設置以来、全国から集まったボランティアの方がたは2200名を超え、のべ9500人の方々が奉仕活動を続けられております。また、救済物資(古着等は「遠慮ください」の受付もいたしております。詳細については当センター、または本山・社会部へ災害対策担当へお問い合わせください。ボランティアの方のための宿泊施設」としてもお使いいただいております。宗派内は元より、他宗派・他宗教の方、一般の方々にも多数ご利用いただいております。すべては、復興という思いを持たれている方のための施設です。お気軽にお問い合わせください。

「東北教区災害ボランティアセンター」

仙台市青葉区支倉町1-127
 電話：022-2227-2219
 FAX：022-2227-2195
 E-mail: tohokukyouku@asokakids.com
 「社会部(災害対策担当)」
 京都市下京区堀川通花屋町下ル
 浄土真宗本願寺派宗務所(西本願寺)
 電話：075-3371-5050(直通)
 FAX：075-3365-6199(直通)

石川欣也先生の
 法話のダイヤル0743-53-4488

茨木東組寺族婦人会・仏教婦人会 共催

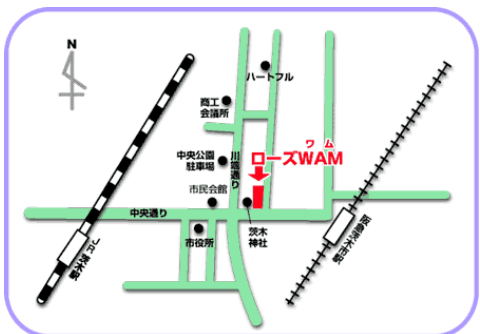
「ありがとう
 を伝えたくて」

三浦明利コンサート

2012年6月21日[木]
 開演時間：昼1時半～(開場時間：昼1時)
 会場：茨木市立男女共生センター ローズWAM B2
 (茨木市元町4番7号【電話】072-620-9920)
 入場料：無料(自由席180席)
 後援：浄土真宗本願寺派大阪教区茨木東組
 問合せ：勝光寺【電話】072-632-3998

プロフィール

1983年生まれ。シンガーソングライター。奈良教区吉野北組光明寺住職。龍谷大学真宗学(大学院)修了。アコースティックギターとピアノによる弾き語り、関西を中心に活動中。メッセージ性の強い歌詞とシンパルなアコースティックサウンド。また、ポピュラリティーを追求した仏教音楽の研究も行っている。2004年バンドモガフープでは数々のコンテストで1位を受賞し、全国デビューを果たした。2008年に住職となり、現在は本山や大谷本願・別院・寺院等を中心に全国で演奏活動を行っている。本願寺仏教音楽・儀礼研究所研究生を経て、次世代にも仏教音楽をの願いで作詞・作曲・演奏活動に取り組んでいる。仏教青年連盟全国大会のテーマソング「en(えん)」や奈良教区の平和の集いの合唱曲、龍谷総合学園の750回大遠忌法要の記念曲など数多く作詞作曲を担当。



早い! きれい! エコ! 寺報メール便のお申し込みはこちらまで saifukuji@runbini.com